

2年部だより

令和7年12月23日

チャンス チャレンジ チェンジ Chance Challenge Change (3つのC)

立志式

延期していた「立志式」を12月18日(木)に無事、行うことができました。お子様たちは、自分の将来について真剣に考え、仲間から発表の助言をもらい、当日に向けて準備をしてきました。「夢プレゼンテーション」は、どこの会場も、発表者は、緊張しながらもはきはきと自分の思いを伝え、聞き手もしっかり聞き、温かいメッセージを書いていました。急な日程変更でしたが、たくさんの保護者の皆様に来校していただき、ありがとうございました。御都合がつかなかった皆様は、是非、御家庭でお子様の「夢プレゼンテーション」を見て下さい。立志式を終えて、生徒の感想を以下に載せます。

立志式のプレゼンテーションをつくったおかげで、今、自分は何になりたいのか、中学校を卒業したら、どうしていくのかなど、大まかなプランを立てることによって、将来のことが考えやすくなりました。また、自分と向き合ういい機会になりました。発表では、話すスピードや声の大きさ、はきはきと話すなどはとても良かったと思いましたが、タブレットを見過ぎてしまったので、また発表する機会があったら、今回気付いたことを活かしていきたいです。
1組

最初の調べ学習の時に、自分の将来のことについて見通しを持つことができたし、発表前は緊張しましたが、たくさんの人のプレゼンを聞いて、とてもいい経験になり、自分が知らなかつた夢についても知ることができて、視野が広がりました。自分の夢を発表するのは、かなり勇気がいるけど、たくさんの仲間から感想をもらうことができて、自分も頑張っていきたいなと勇気がもらいました。親も来てくれていて、“将来自分がどうなりたいのか”を説明することができて良かったです。
1組

同級生の中でも、抱く夢が多種多様であることにとても驚きました。今回のプレゼンテーションでも多くの職業に魅力を見出すことができました。今は、学芸員になりたいと思っていますが、一本の道を上っていくだけでなく、様々な道のりを経て職に就きたいと思います。そして、様々な夢も持ちたいので、今回のプレゼンテーションで得たものを忘れず、人生を歩んでいきたいと思いました。
2組

発表するとき、練習したときよりも早口になってしましましたが、聞き手に聞き取れるように、はっきり話すことはできましたし、この前、英語の発表の反省を生かし、アイコンタクトをすることができたので、よかったです。他の人の発表も、自分の伝えたいことを一生懸命伝えていてよかったです。急にプロジェクターがつかなくなってしまった班がありましたが、臨機応変に対応してすごいなと思いました。みんなからもらったメッセージカードを読んだら、プレゼンの内容や話し方を褒めてくれたり、「頑張って!」とか、「応援しているよ!」と書いてくれていて、とてもうれしかったです。
2組

今日のプレゼンは、自分の夢に向かって、“どんなことを大切にするのか?”“どんな高校に行くのか?”など具体的に話すことができたので、いいなと思いました。参観してくれた母にも、自分の夢を伝えることができたので、発表の中でも、普段はあまり言えない感謝の言葉を伝えることができたと思います。自分の大切なことは、“自分を支えてくれている人への感謝の気持ちを忘れない。”ということです。これからもその気持ちを忘れずに、夢に向かって頑張っていきたいです。
3組

今まで作成してきたプレゼンを分かりやすくみんなに伝えることができました。原稿は作りませんでしたが伝えたいことを自然に語っているように話すことができました。また、調べたことを手など身振りも使って伝えることもでき、アイコンタクトや聞きやすい声ではっきり、ゆっくりと話すことができました。少し、緊張しましたが、聞いているみんなの雰囲気のおかげで、安心して発表することができました。みんなへのメッセージも、具体的に書けました。今回の夢について考えていく活動を活かし、自分の夢に向かって頑張りたいです。

3組

立志式第1部を終えて、改めて自分がサッカーが大好きなことが分かったり、人に何かを伝えることが好きなど実感しました。また、このような人生の節目となるようなところで、このような素晴らしい式を行うことができて、よかったですと思います。みんなに伝えたことや思いが達成できるように、これからも、この学習に至るまでに培ったものを存分に發揮できるように、知識・技能であったり、思考・判断・表現であったり、主体的に取り組む態度であったりを、これからは意識して、一つ一つ各観点のスキルが身に付いて、自分の夢が達成できるように頑張っていきたいと思いました。

4組

プレゼン発表を終えて、自分の好きなことや興味のあることを仕事にできるのは、すごいことだと感じました。プレゼンを考えるまでは、あまり深く考えていなかったけど、この学習を通して、その仕事の魅力など分かることがたくさんあって、これからの進路や将来について考えるのがより楽しみになりました。みんなの発表を聞いていても、自分の夢や大事にしたいことに活かせる話がたくさんあって、聞いていて楽しかったし、参考になりました。自分の発表を聞いてもらうから、聞いてくれる人が分かりやすかったり、自分が伝えたいことが伝わるよう工夫することもできて良かったです。

4組

自分自身を振り返ることの大切さ

後期は、3年生よりバトンタッチされた部活動や生徒会・専門委員会の活動で、2年生を中心となり、やりがいをもって取り組み、吉原北中の柱となって頑張っています。また、総合的な学習の時間で『進路学習』を行っています。「進路選択とは、自分が将来生きていく道を選択すること」です。中学校卒業後の進路選択かその第一歩です。先日は、「入試の選抜方法」や「調査書」について伝えました。最初は進路について不安を感じていました子どもたちも、進路について学習を進めたことで、少し不安が減り、頑張りたいという思いを強く持ったという声も聞かれました。御家庭でも、今後の進路について話題にしていただけると幸いです。

2025年の締めの月として、学校でも子どもたちと一緒に振り返りを行っているので、御家庭でも、成長できた点を褒めながら課題を見つけ、来年に向けて、今ある姿・心をさらに成長できるように御声掛けをお願いします。

お知らせ

1月8日(木)『静岡県学力診断調査』(5教科)があります。テスト範囲は、「冬休みのしおり」にもありますが、1年生4月から2年生12月までです。学校では、過去問や今までの校内テストなどを繰り返し解いて実力をつけるように指導しております。年末年始は御家庭での予定もあると思いますが、冬休み中の時間も上手に活用して、しっかり復習をして臨むよう、御家庭でも励ましの声をお掛けください。